

日本労働年鑑 第51集 1981年版
The Labour Year Book of Japan 1981

第二部 労働運動

XIV 政党

4 公明党

3 大会・中央委員会

(1) 大会前の中央委員会

第三二回中央委

公明党第三二回中央委員会は七九年一月一三日、東京・信濃町の公明会館で開かれた。この中央委員会は半年後に迫った参院選にむけて党の態勢を固めるためのものであった。それと同時に参院選での選挙協力問題と関連して社会党の中執委が公明党との提携に重点をおく方針をうちだし、中央委の前日に両党の書記長会談で「政権協議委員会」を開催することで合意したこと、また中央委の当日には、民社党とのあいだで「中道政権構想協議会」が発足したこともあって、「連合政権」問題、選挙協力問題が論議の中心になった。竹入委員長は冒頭のあいさつのなかで、参院選が政治転換の焦点であると述べ、自民党政権にかわる「受け皿」づくりのため、野党間で「共同政府綱領」をつくることを提唱した。また社会党が政権協議に前向きな姿勢を示したことを評価するとともに、「参院選での与野党逆転のためには社公路線だけでは不可能で、公明党がこれまで基本としてきた「大枠としての社公民路線」とならざるを得ない、と述べ、さらに共産党をふくんだ政権構想には合意できないことを強調し、「今後の両党間の接触の中で、この点に決着がつけられることを期待する」と表明した。このあと(1)中央委員の補欠人事の承認、(2)県本部活動方針の承認、(3)第三一中委後の党務報告、(4)昭和五四年度補正予算、の四議案の提案説明のあと質疑がおこなわれ、各議案とも賛成多数で承認された。最後に参院選の第一次公認候補一四人の紹介と決意表明があつて閉会した。

なお委員長あいさつの全文と本中央委の概況は『公明新聞』七九年一月一四日付、質議の要旨および党務報告の一部は同翌一五日付、党務報告の残りは同一六日付にある。

日本労働年鑑 第51集 1981年版

発行 1980年11月25日

編著 法政大学大原社会問題研究所

労働旬報社

****年**月**日公開開始

